



県内経済の動き

概況

〔2月～4月の動き〕

足踏み状態。

生産活動は一進一退の動き。大型小売店の総販売額（3月 全店ベース）は3カ月連続で前年を下回り、「軽」を含む乗用車の販売台数（4月）は22カ月連続で前年比減少したが、新設住宅着工戸数（3月）は2カ月連続で前年比増加した。公共工事（3月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年を上回り、細島港の通関輸出額（3月）は4カ月連続で前年比減少した。有効求人倍率（3月：1.13倍）は、前月比0.04ポイント上昇した。

県内経済は、一部に緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、総じて足踏み状態が続いている。

（黒木）